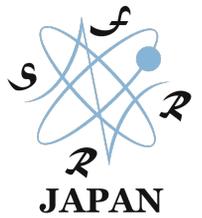


# SFRR Japan NEWSLETTER

June 1, 2015



## ◇◇◇ 年次学術集会案内 ◇◇◇

### 第68回日本酸化ストレス学会学術集会

日時: 2015(平成27)年6月11日(木)~12日(金)  
会場: かごしま県民交流センター  
〒892-0816 鹿児島県鹿児島市山下町14-50  
<http://www.kagoshima-pac.jp/jp/center/index.html>



#### 開催のご挨拶

この度、平成27年6月11日(木)~12日(金)に第68回日本酸化ストレス学会学術集会を鹿児島市・かごしま県民センターにて開催いたします(<http://sfrrj68.umin.jp/>)。鹿児島県での開催は過去68回の日本酸化ストレス学会史上初の開催となります。多くの難病、例えば、リウマチ、肝炎、腸炎、発癌、老化等の要因として活性酸素との関連が数多く報告されています。神経疾患の多くは、酸素ストレス関連疾患であることもわかってきました。酸化ストレス下における生体内反応、生体内代謝産物は複雑かつ多様であります。アポトーシスに加えて、オートファジー、マイトファジー、またネクロトーシスもミトコンドリアにより制御されると言われています。本大会ではワークショップ「ミトコンドリアが関与する神経障害」と題しまして、ミトコンドリアおよび神経領域でご活躍されている先生方にシンポジウムをしていただきます。また、近年では医療の分野に応用されつつあるテクノロジーとしてプラズマが注目されており、シンポジウム1「プラズマ医療科学の創成と進展」では、この分野で最も活躍されている先生方にご講演をしていただきます。シンポジウム2では関連学会 酸化ストレス応答学会のご協力により「酸化ストレス応答学会シンポジウム」を予定しております。その他にも、招待講演として、University of Sydney からProf.Des Richardson、東京大学から北 潔教授をお招きし、貴重な講演をしていただくことになっております。また、同志社大学 米井嘉一教授、九州大学 康 東天教授、中別府 雄作教授には特別講演をしていただきます。会員の皆様には、本大会で熱い討論を繰り広げていただき、本大会を通じて酸化ストレス研究がより一層発展していくことを切に願っております。会員の皆様の多数のご参加をスタッフ一同、心よりお待ちしております。

第68回日本酸化ストレス学会学術集会 大会長  
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 教授  
馬嶋 秀行



## Must see, must eat!

### 鹿児島よかとこ おじゃったもんせ



平成27年6月11日(木)~12日(金)に、鹿児島大学馬嶋秀行大会長のもと、かごしま県民交流センターにて第68回 日本酸化ストレス学会学術集会を開催いたします。会員の皆様には、ぜひ学術集会に参加していただきますとともに、鹿児島を堪能していただきたいと思ひ、おすすめのお店や観光スポットを紹介させていただきます。



鹿児島といえば黒豚が有名ですが、鹿児島の黒豚は鼻と尾、4本の足先の合計6カ所が白い、六白黒豚です。トンカツの美味しいお店は市内にたくさんありますが、会場に程近い天文館には「六白」「味のトンかつ 丸」「黒福多」「あじもり」といったお店があります。

ラーメンも鹿児島では忘れてはならない食べ物のひとつであり、「くろいわ」「こむらさき」といった全国的に有名なお店もありますが、もうすでに行かれたことのある方には黒味噌ラーメンの「三平ラーメン」、薩摩ラーメンで人気の「尾木場」、あっさり系の「ラーメン専門鷹」などはいかがでしょうか。どのお店も会場から歩いて行ける距離にありますので、ランチの時にでも行かれてはみてはいかがでしょうか。薩摩料理、しゃぶしゃぶと鹿児島には他にも美味しい食べ物がたくさんあるのですが、おすすめしたいのは首折れサバです。鮮度を保つため、漁獲後すぐ首を折って血抜きをすることから首折れサバと名付けられました。刺身ももちろん美味しいのですが、すき焼きならぬ「サバすき」は鹿児島でしかきつと味わえないことでしょう。「屋久の庵 梅吉」というお店でいただくことができるのですが、要予約です。で行かれる方は事前に予約された方がよろしいかと思います。ちなみに薩摩料理を堪能されたい方は「熊襲亭」「さつま路」、しゃぶしゃぶであれば「華蓮」「いちにいさん」「しゃぶ禅」といったところが有名です。



また、美味しい食事の後、ワインの美味しいワインバー「ラブティットセリーヌ(La Petite Cerine)」や夜景が見られるバー「13」「オールドバレル」といったお店がありますので、夜の天文館をぜひ満喫していただければと思います。

鹿児島の観光スポットとしては、これもまたおすすめしたいところが山ほどあるのですが、今回は「知林ヶ島」をご紹介したいと思います。鹿児島湾に浮かぶ島で干潮時には砂州が出現し、歩いて渡れる無人島です。この島にある「チリンズベル」を鳴らすと幸せになれるそうで、「縁結びの島」と呼ばれています。6月13日(土)~14日(日)に砂州の出現する予測時間は9:00~13:00頃とのことです。ここは指宿から行くことができ、指宿までは鹿児島から電車があり、中でも鉄道マニアにはうれしい「指宿の玉手箱(いぶたま)」とよばれるレトロな車両の電車もあります(一日往復3便:要予約)。指宿には砂蒸し風呂、唐船峡のそうめん流しなどもありますので、お時間のある方、興味のある方は学会終了後、ふらっと行かれてみてはいかがでしょうか。最後にお土産のお菓子ですが、薩摩蒸気屋のかすたどん、フェスティバロの唐芋レアケーキ ラブリー、薩摩じねんやの花林糖饅頭などがおすすめです。いずれも鹿児島空港、鹿児島中央駅で購入できますので、ぜひ参考になさってください。

第68回日本酸化ストレス学会学術集会  
事務局長 大童 寛子  
(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科)



## ◇◇◇ 次期年次学術集会案内 ◇◇◇

### 第69回日本酸化ストレス学会学術集会

日時:2016(平成28)年8月30日(木)~31日(金)

会場:仙台国際センター

〒980-0856仙台市青葉区青葉山無番地

仙台市営地下鉄東西線(2015年12月開業予定)国際センター駅から徒歩1分)

Tel. 022-265-2211(代表) Fax. 022-265-2485

http://www.aobayama.jp/



#### 開催のご挨拶

会長:赤池 孝章

(東北大学大学院医学系研究科環境保健医学分野教授)



このたび、仙台市におきまして第69回日本酸化ストレス学会学術集会を開催させていただくことになりました。仙台では、2011年に河野雅弘先生を会長として学術集会の開催を予定しておりましたが、残念ながら東日本大震災により北海道での開催となりましたことはご記憶に新しいことと思います。震災をのりこえて、今回あらためて、仙台の地ではじめての本学術集会を開催できますことを、東北地方の研究者のひとりとしてたいへん光栄に思います。酸化ストレス研究の発展に貢献する有意義な学術集会になりますよう、現在、鋭意開催の準備を進めているところです。

本学術集会では、例年どおりのプログラム構成を踏襲しながら、酸化ストレスの最新研究を取りあげた内容を企画しています。特別講演では京都大学の森 泰生先生と九州大学の住本英樹先生に、また、教育講演では弘前大学の伊東 健先生と東北大学の本橋ほづみ先生に、各先生方の最新の研究成果をまじえてご講演をいただく予定です。シンポジウムでは、「親電子シグナル制御」、「低酸素・チャネル制御」、「酸化ストレスと発がん」、「活性イオウシグナル制御」など、近年研究進展の著しいトピックを予定しています(詳細な情報につきましては随時ホームページ等で掲載いたします)。

仙台では今年12月に地下鉄東西線が開通する予定で、仙台駅から会場の仙台国際センターまでのアクセスが格段に良くなります。会員の先生方におかれましては、是非ご参加いただきたくお願い申し上げます。

## ◇◇◇ 新役員推薦について ◇◇◇

本会の運営の中核を担う 役員として、理事・評議員を選出しております。より良い会務処理の為、新しい役員候補を会員の中心より、推薦内規に沿って、広く募っております。

理事は、理事2名以上の推薦により、現評議員から選出されます。

評議員は、理事1名以上もしくは評議員2名以上の推薦により会員の中心より選出されます。

※以下、内規より抜粋。

#### 《理事》

- ・原則として、本学会に継続して5年以上在籍、かつ会費を完納しているもの。
- ・酸化ストレスに関する研究歴5年以上のもの。
- ・最近5年間に、関連領域において、発表論文が、学会誌「Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition(JCBN)」最低1編を含む、5編以上有するもの。(共著者可)
- ・最近3年間に日本酸化ストレス学会年次学術集会における発表が1回以上のもの。(共同演者も可)
- ・国内外において、関連領域に関する卓抜した見識又は業績を有する者。また、年次学術集会が主宰出来る職位にあることが望ましい。
- ・その他理事会が特に必要と認めたもの。

#### 《評議員》

- ・原則として、本学会に継続して3年以上在籍、かつ会費を完納しているもの。
- ・酸化ストレスに関する研究歴3年以上のもの。
- ・過去5年間に、関連領域において、発表論文が、学会誌「Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition(JCBN)」最低1編を含む、5編以上有するもの。(共著者可)
- ・過去5年間に、日本酸化ストレス学会年次学術集会ならびにSFRR関連国際学会における発表が3回以上のもの。(但し、特別講演においては1回以上、シンポジウム/ワークショップにおいては2回以上とする。共同演者も可)
- ・国内外において、関連領域に関する卓抜した見識又は業績を有する者。
- ・その他理事会が特に必要と認めたもの。

☆学会への積極的関与を期待しておりますので、学会参加・発表などを継続的に続けている会員の方を是非推薦して頂いたら幸いです。

☆理事・評議員は、会費が一般会員とは異なりますが、年会費にJCBNの年間購読料を含みます。年6回発刊される雑誌を破格で受け取れることとなります。(定価5万円→実質5千円)

理事・評議員は、内規により、任期中の理事会・評議員会を3回連続して欠席した場合、再任は認めないものとなっております。再任の見直し対象として理事会にて審議されることとなりますので、十分にご留意下さい。

## 会員特典を活用しよう!

日本酸化ストレス学会の会員には種々特典がありますので、是非ご活用下さい。



1) 関連学会への会員価格での参加。

SFRR International, SFRR Asiaをはじめ、関連の学会には会員価格の設定がなされている事が多いです。

例えば、第68回年次学術集会では、事前登録 非会員14,000円のところ、会員は8,000円と6,000円もお得、また、SFRR Europe 2016(ハンガリー 6/8-11)の場合は、事前登録一般480€のところ、会員は400€と80€もお得です。

2) “Free Radical Research (FRR)の会員特別価格での定期購読。

上部組織である SFRR Asia オフィシャルジャーナルである “Free Radical Research (FRR)の定期購読が会員特別価格 年間75\$

で購読可能です。購読希望者は、学会HPよりお申し込み下さい。(2015年5月現在。出版社との契約が変更になる可能性がありますので、詳細は申込時に念の為、再度ご確認お願い致します。)

### FRR出版社が2015年より変更となりました。

Informa Healthcare社→Taylor & Francis社

変更に伴い、現在オフィシャルジャーナルとしての契約を再検討致しております。オンライン購読システムについても出版社にて再構築を行っているようですので、詳細が決まり次第、HPなどでお知らせ致します。

3) 各賞への応募

・本会では、学会賞/学術賞/学術奨励賞/八木記念学術奨励賞、また、国際関連学会ではYoung Investigator Award を授与しております。各賞には規定がございますが、応募資格があるにもかかわらず、詳細を知らずに機会を逃しているケースが多いかと拝察致します。会員の皆様のためです。是非、まだ早い...などと思わずに奮ってご応募下さい。

ベテラン研究者向け ☆公募/自薦/他薦は問いません。

【学会賞】会員歴10年以上で、その業績が日本の酸化ストレス研究を代表しかつ世界に通用するものであり、本会の運営あるいは発展に特に顕著な功績のあった研究者に対し授与する。

中堅研究者向け ☆公募/自薦/他薦は問いません。

【学術賞】会員歴5年以上、50才以下で、過去の研究歴ならびに業績より総合的に判断し、本学会ならびに世界において今後の顕著な活躍が期待されるもの。また、学術集会における筆頭発表者(口頭およびポスターによる発表)の経験の有するものに対し授与する。

上記は、毎年1月頃に公募致します。本会で活躍の未受賞の候補者の先生がまだ多数在籍されているかと拝察致します。是非、ご推薦下さい。

若手研究者向け ☆公募

【学術奨励賞】会員歴3年以上で、当該年の4月1日において40歳以下(女性は45歳以下)で、酸化ストレス研究の進歩に寄与する顕著な研究を発表し、将来発展の期待される研究者に対し授与する。ただし、研究業績はその主要な部分が日本国内で行なわれたものに限る。  
→ 年次学術集会の演題応募と同時に申し込み下さい。

上記3種受賞者には、  
素敵なクリスタル賞状楯が授与されます♪  
(若手向けは、同様ミニサイズの楯)



【八木記念学術奨励賞】本会会員で、本学会オフィシャルジャーナルであるJournal of Clinical Biochemistry and Nutrition (以下JCBN と称する)において、前年度第一著者として受理された論文の中で最優秀の論文に授与する。

→ JCBN投稿随時受付中。詳細はHPをご参照下さい。

会員歴が3年過ぎたら、賞応募のチャンス到来です!

若手の奨励賞は若手のうち!!



その他

【Young Investigator Award】関連国際学会(SFRR International, SFRR Asia, SFRR Australasia 等)での発表(口演・ポスター)の若手研究者。

☆上部組織であるSFRR Asiaにも各種アワードがありますので、チャンスは沢山あります。是非是非ご活用下さい! Good Luck!!

【関東支部例会】

2014年度関東支部会年会

会 期:2014(平成26)年12月20日(土)  
 会 場:筑波大学東京キャンパス文京校舎  
 〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1  
 会 長:松井裕史(筑波大学大学院人間総合科学科  
 消化器病態制御学)  
 事務局:神奈川県歯科大薬理学教室(李研究室)



2014年も押し迫った12月20日、定例の日本酸化ストレス学会関東支部会を筑波大学文教キャンパスを会場に開催させていただきました。暮れ忙しい折にもかかわらず、100名以上の参加をいただき大変盛況な会となりました。ご協力いただきました関係各方面には大変お世話になり感謝の念に堪えません。この場をお借りして改めてお礼させていただきます。

さて会の概要ですが「若手に発表の機会を与える」という目的に沿う形でYIAセッションには13の演題が集まりました。いずれも野心的で挑戦的な演題で、発表もよく練れており、甲乙つけがたい状況の中、慶応義塾大学薬学部 医薬品科学講座の藤田亮輔氏が最優秀奨励賞の栄冠を手に入れました。

また、(株)エーザイの協賛を得ましてランチョンセミナーを開くことができました。慶応義塾大学薬学部 分析科学講座の水島先生による「ドラッグ・リポジショニングとスマートヘルスケア」という演題で、来るべき高齢化社会における既存薬の新しい利用法についてお話いただき、参加者全員感銘を受けました。

さらに特別講演として筑波大学名誉教授の加藤澤男先生に「私の体験談」という演題でご講演いただきました。加藤先生はみなさんご存じのようにオリンピックで金メダル8個、銀メダル3個、銅メダル1個を得られている日本を代表する体操選手です。ご講演に際して会場にメダルを回覧していただき、各人一瞬の金メダリスト気分を味わうことができました。ご講演は「本番では練習の6割の力しか出ないものである。したがって金メダルを取るには6割で金メダルを取られる内容の練習が必要である」「勝って知ることより負けて知ることの方が多い」と言った金メダルを8個も取った人ならではの金言に溢れた内容で、参加者一同頷くばかりでした。

盛会のうちに小澤会長のあいさつで閉会となり、近くのお店の懇親会ではさらに大いに盛り上がりしました。不慣れな運営でしたが無事終了でき、本当にありがとうございました。

今回は東海大学医学部 分子生命科学講座の竹腰進先生、2015年12月19日です。

【東海支部例会】

東海支部 第3回学術大会

日 時: 2015(平成27)年2月7日(土)13:30-17:30  
 会 場: 名城大学八事キャンパス・新1号館4階  
 (402教室)(名古屋市天白区八事山150)  
 実行委員長: 小嶋仲夫(名城大学薬学部)

日本酸化ストレス学会東海支部・第3回学術大会を終えて

本学術大会は、小嶋仲夫教授(名城大学薬学部)を実行委員長として、2015年2月7日(土)に名城大学薬学部(名古屋市天白区八事山150)において開催いたしました。入学試験あるいは国家資格試験などが実施されるお忙しい時期にもかかわらず61名の諸先生方および学生諸君に参加いただきました。教育講演会では、静岡県立大学食品栄養科学部の下位香代子先生に「ストレスとROSとがん— $\beta_2$ -アドレナリン受容体を介した応答—」というタイトルでご講演頂きました。教育講演の座長を務められた豊國伸哉先生(名古屋大学大学院医学研究科)には、学生諸君からの質問を優先するなど、活発に議論できる雰囲気づくりにご貢献いただきました。これは、続いて行われた一般口演にも良い影響をもたらし、会を終えてみると、終始、学生諸君からの積極的な質問が印象に残っています。本会にご参加いただきました皆様には、多大なるご支援をいただきましたこと、ここに記して深く感謝申し上げます。

第3回学術大会事務局 岡本誉士典(名城大学薬学部・助教)



以下の関連学会情報は予定を多く含みます。変更などが生じる可能性もありますので、詳細については、各主催団体にお問い合わせ下さい。また、学会HPにても随時情報を掲載予定です。

**Society for Free Radical Biology and Medicine 22nd Annual Meeting**  
 会 期: November 18-22, 2015  
 会 場: Westin Waterfront Hotel  
 Boston, Massachusetts USA



Further information:  
[www.sfrbm.org/sections/annual-meeting/information](http://www.sfrbm.org/sections/annual-meeting/information)

7<sup>th</sup> Joint Meeting of the Societies for Free Radical Research Australasia and Japan

Date: December 7th-10th, 2015  
 Venue: Christchurch, New Zealand

Structure:  
 Mon 7th Dec: evening Plenary Speaker followed by mixer  
 Tues 8th - Thurs 10th Dec: three full days of invited and selected oral presentations and poster sessions  
 Thurs 10th Dec: evening Conference dinner  
 Chair of Organising Committee: Prof Tony Kettle  
 For more information, please contact [tony.kettle@otago.ac.nz](mailto:tony.kettle@otago.ac.nz)



Delegates are also invited to attend a one-day symposium on Mon 7th Dec to celebrate the career of Professor Christine Winterbourn, "Fifty years as a radical"



2015年度関東支部会年会

会 期:2015(平成27)年12月19日(土)  
 会 場:東海大学代々木キャンパス  
 〒151-8677 東京都渋谷区富ヶ谷2-28-4  
<http://www.u-tokai.ac.jp/about/campus/yoyogi/>  
 ・小田急線「代々木八幡」駅または「代々木上原」駅下車徒歩10分  
 ・京王井の頭線「駒場東大前」駅下車徒歩10分  
 ・地下鉄千代田線「代々木公園」駅下車徒歩10分



会 長:竹腰 進(東海大学医学部基礎医学系生体防御学領域)  
 2015年度関東支部会年会事務局:  
 東海大学医学部東海大学医学部基礎医学系生体防御学領域(竹腰研究室)

第32回臨床フリーラジカル会議

会 期:2016(平成28)年1月29日(金)p.m. ~30日(土)a.m.  
 会 場:烟河(けぶりかわ)会議室 (京都府亀岡市)  
 〒621-0251 京都府亀岡市本梅町松1-1  
 TEL 0771-26-2345  
<http://www.keburikawa.com>



当番世話人:吉川 敏一  
 (京都府立医科大学学長)  
 問い合わせ先:臨床フリーラジカル会議 事務局  
 京都府立医科大学大学院医学研究科消化器内科学内  
 e-mail: [handao@koto.kpu-m.ac.jp](mailto:handao@koto.kpu-m.ac.jp)



日本酸化ストレス学会東海支部 第4回学術集会

日 時:2016(平成28)年2月6日(土) 13:00~(予定)  
 会 場:三重県鈴鹿市(予定)  
 実行委員長:川西正祐(鈴鹿医療科学大学)

詳細は、決まりましたら随時学会HPに掲載予定です。

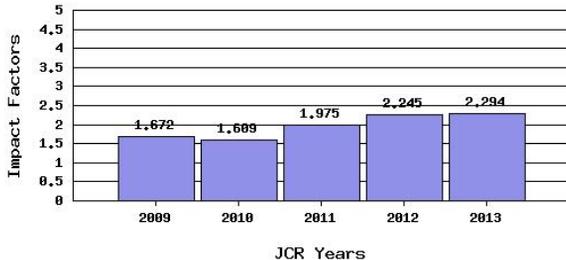
オンラインによる投稿随時受付中!  
Online SubmissionのURL

<http://www.editorialmanager.com/jcbn/>

現在の Impact Factor : 2,294 (2013)



JOURNAL OF CLINICAL BIOCHEMISTRY AND NUTRITION



年々IFも上昇中 多数の引用も歓迎致します。

JCBN誌は、年6回(毎奇数月)に発行の英文雑誌です。広く投稿を受付けております。(現在の採択率:4-5割程度)応募規定は、学会HPよりご確認下さい。



JCBNの論文投稿は、新評議員推薦でも評価されます。いつでも応募が出来るように、早めに投稿して条件を整えておくのも良いのでは。また、会員の現段階では投稿がまだ少ない為、論文に対して授与される 八木記念学術奨励賞(ミラータイプの輝きのある受賞記念楯ならびに副賞5万円が授与されます。)も今がChance! 八木記念学術奨励賞は、限定された基金の中で運用されている為、期間限定の賞です。

現在採択率約50%程度。早めの投稿をおすすめします。

## シリーズ:酸化ストレスのつぶやき 第9回



斎藤 芳郎  
(同志社大学生命医科学部医生命  
システム学科システム生命科学研究室)

9歳になる娘が「ストレスたまわ〜」と言うのを聞き、随分大人になったものだと思う反面、「ストレスがたまると」という単語にどうしても反応してしまふ。元々物理学の用語であった「ストレス」を生物学に応用したハンス・セリエの定義では、ストレス要因(ストレッサー)とストレス状態(またはストレス反応)を分けていたが、現在では二つを混合した意味である場合や、それぞれ単独の意味でも用いられる場合がある。娘の場合は、精神的・身体的なストレッサーに対する生体応答の結果、疲労が蓄積したということ表現していると思われる。セリエは、ストレッサーに暴露された生体の応答から、ストレス反応を軽減したりストレス障害を防ぐ「適応反応」を見いだしている。酸化ストレス応答においても、低レベルの放射線により誘導される有益な効果「ホルミシス効果」が知られている。適応反応は、様々な活性酸素種でも見られ、条件によっては生体の抗酸化機能を高める「いいストレス」として作用する。こう見るとストレスって体にいいのか?と思ってしまうが、ストレスの無い状態に生体を置くとストレス耐性が低下してしまうことから、耐性維持のためにむしろストレスは必要だ!という見方もある。日々のストレスは、私たちのストレス耐性を維持する重要な刺激であり、セリエは「人生のスパイス」と表現した。酸化ストレスがスパイスか?という所には議論があるが、娘のストレスはある意味ストレス耐性を誘導するいい作用を示しており、父親としては暖かく見守っておこうと思う。



SFRR Japan(日本酸化ストレス学会)は、SFRR International並びにSFRR Asiaの下部組織です。日本酸化ストレス学会の会員の方は自動的に両国際組織のメンバーとなっております。

本年2015年は、SFRR Asia の開催年となります。



SFRR-Asia 2015

7th Biennial Meeting of Society for Free Radical Research-Asia

YIAの公募も予定しております。是非、ご応募下さい。

7th Biennial Meeting of Society for Free Radical Research Asia

- Advanced Oxidative Stress Research for Health Benefits and Well-beings-

Date: November 29<sup>th</sup> to December 2<sup>nd</sup>, 2015

Venue: The Empress Hotel, Chiang Mai, Thailand

HP: <http://www.sfrasia2015.com/main.php>



演題公募中! 演題応募締切 June 30, 2015

事前登録締切 August 31, 2015

SFRR Asia オフィシャルジャーナル “Free Radical Research”  
会員特別価格での購読受付中。

是非多くの購読をお申し込み下さい!

FRRの出版社(2014年迄Informa Healthcare社→2015年よりTaylor & Francis社)は、Young Investigator Awardならびに Travel Awardの協賛企業です。

## ◇◇◇ 事務局より ◇◇◇

学会員の皆様、いつも本会運営にご協力頂き、有り難うございます。また、年次学術集会を機会にご入会頂きました先生方、有り難うございます。若手の先生方が沢山入って頂き、学会が益々活性化されると期待致しております。

☆☆☆ いつものように事務局からのお願いです。☆☆☆

- ・年会費のご納入はお済みですか? 出来るだけ早めのご納入をお願い致します。過年の未納がある場合は、合わせてお願いします。
  - ・ご所属や連絡先の変更があった場合は、速やかに事務局までご連絡をお願い致します。転居先不明で、今年も迷子で戻ってくる郵便物を前に事務局は途方に暮れております。是非是非、事務局へ近況のお知らせも兼ねて、ご連絡をお願い致します
  - ・学生の方で、卒業後継続希望されない場合や、退官されたベテランの先生方で退会をご希望の場合は必ずご連絡をお願いします。
- 退会届は、学会HPよりダウンロード出来ます!

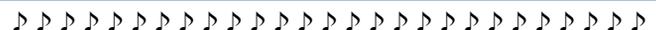


休会制度をご存知ですか?

留学や一時研究を離れるなどで休会を希望される場合は事務局までお知らせ下さい。休会中は、会費が不要です。但し、会員歴には加算されません。

休会届は学会HPよりダウンロード出来ます。

色々な会員登録情報変更、事務局までお願いします!



SFRR Newsletter 2015年6月号

発行:2015年6月1日

SFRR Japan Newsletterに掲載を希望される方、あるいは、ご意見などありましたら、下記事務局宛ご連絡下さい。

SFRR Japan事務局 (総務委員会:内藤裕二・半田 修)  
〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465  
京都府立医科大学大学院医学研究科消化器内科学内

TEL: 075-254-8520 FAX: 075-254-8521

E-mail: [sfrj@koto.kpu-m.ac.jp](mailto:sfrj@koto.kpu-m.ac.jp)

HP: <http://sfrj.umin.jp/index.htm>